

【67頁 第2段落 1行目】

誤 「春秋時代中期の前6世紀になると、」 → 正 「春秋時代後期の前5世紀になると、」

【68頁 第4段落 下から2行目】

誤 「口唇部は平らに削られており、」 → 正 「口唇部は平らに整えられており、」

【69頁 第1段落 4行目】

誤 「少なくとも表面へ塗布した物質の上から文様を刻む」 →

正 「少なくとも表面へ変色処理を施した後で文様を刻む」

【69頁 第2段落 2行目】

誤 「この型式は四川省の前5～前3世紀の墓からよく出土する。」 →

正 「この型式は前3～前2世紀のものである。」

【69頁 第2段落 7～8行目】

誤 「凸線のすぐ上の部位には、きさげと思われる条痕」 →

正 「凸線のすぐ上の部位には、きさげ及びしぼりと思われる条痕」

【69頁 第3段落 2行目】

誤 「圈帯内部には、敲きによる小さな凹み」 → 正 「圈帯内部には、縦長の小さな凹み」

【69頁 第4段落 2行目】

誤 「赤銅色の面のうえに付着している。」 → 正 「赤銅色の面のうえにみられる。」

【70頁 第1段落 1行目】

誤 「頸部はきさげて表面を平滑にしている。」 →

正 「頸部はきさげとしぼりによって表面を平滑にしている。」

【70頁 第1段落 3～4行目】

誤 「しかも、この文様は塗膜した後から打刻しており、塗膜後の表面の色と」 →

正 「しかも、この文様は表面の変色後に打刻しており、変色後の表面の色と」

【70頁 第2段落 1行目】

誤 「黒灰色の塗膜上に集まる傾向である。」 → 正 「黒灰色の面上に集まる傾向である。」

【70頁 第2段落 4行目】

誤 「いずれにせよ、この塗布が従来指摘されてきたような」

正 「いずれにせよ、この表面の処理が従来指摘されてきたような」